

第23回 丸山地区及び和田地区学校再編検討委員会合同会議 会議録

日 時 平成27年11月2日(月)
午後7時から午後8時まで
場 所 丸山公民館 2階 大会議室
出席委員 丸山地区21名 和田地区18名
欠席委員 和田地区 3名
傍聴人 なし

1 開会

皆さん、こんばんは。本日は、大変お忙しい中、御出席いただきありがとうございます。それではただ今から、丸山地区及び和田地区学校再編検討委員会第23回合同会議を開会いたします。次第に沿って進めさせていただきます。

2 委員長挨拶(丸山地区渡邊委員長)

みなさん、こんばんは。今日は、11月に入って直ぐということですが、どういふわけか真冬のような寒さを迎えてしまいました。また、片方では実りの秋ということで、皆様方も何かと御多用のことと思いますが、本日の検討委員会合同会議に多数御出席をいただきまして、本当にありがとうございます。第22回検討委員会は、6月4日に行われましたが、それから本日までの間に専門部会の委員の皆様には、数回専門部会を開催していただきまして、より良き方向性を探っていただいたと思います。本当に御苦勞様でございました。

さて、ここで場違いな話ということで、皆様方からお叱りをいただくかもしれません、極めておめでたい話でございますので、お許しをいただいて申し上げたいと思います。10月21日の房日新聞を拝読いたしました。そこにはトップ記事で、安倍首相の諮問機関の一つに教育再生実行会議がありまして、この有識者メンバー18名の中に、ここにおられます三幣教育長さんが選ばれました。そのことが房日の記事に載っていましたが、皆様方もその記事はお読みになったことかと思ひます。そして、素晴らしい、最高だと感じられたことかと思ひます。私も同感でございました。三幣教育長さん、誠におめでとうでございます。記事から読み取れることは、国家、国民の教育に関する重要会議ということ。三幣教育長さんがそこに出席されるということは、私どもにとっても、また安房地域全体にとっても大変大きな喜びであると同時に大きな誇りであると思っております。今後、首相官邸で開催される会議においては、三幣教育長さんには豊かな御経験また卓越した筆硯や感覚、そして揺ぎ無い信念、あるいは優しさ溢れるお人柄を十分發揮されて、御活躍下さることを心より御期待申し上げて、言葉が整いませんが三幣貞夫教育長教育再生実行会議有識者メンバー御着任の祝辞とさせていただきます。大変失礼いたしました。みなさん、ありがとうございました。

では、再度本来へ戻ることにいたします。本日は、報告項目が二つ、それから協議事項として二つございます。新校舎の建設に向かつての進捗状況を御報告いただいたり、専門部会の報告とそれに伴う協議、そういった事でこの会議が進められると思ひます。皆様方の御協力をよろしく願ひいたします。

3 教育長挨拶

みなさん、こんばんは。お集まりいただきありがとうございます。今日、議事を2項目用意してあります。この間、専門部会の皆様方には、かなりの回数集まっていただき、協議を重ねていただいたことと思います。大変、ありがとうございます。この会議の一つの役割としては、再編検討委員会ということで、丸山・和田地区の幼稚園、小学校、中学校の再編を検討していくことですが、すでに嶺南中学校がスタートしております。この嶺南中学校あるいは嶺南中学校区という一体感、そういったものを作っていく中心になるかと私は期待しています。その嶺南中学校ですが、校長から申し上げればよろしいわけですが、新人戦が開かれておまして、剣道で男子が優勝、女子が準優勝、個人男子の優勝と共に県大会に出場します。また、昨日、県の駅伝大会がありました。そこに男女とも出場したということで、安房地区の大会につきましては、男子は優勝、女子は最終のところまで交わされて3秒差の準優勝ということで、昨日男女とも県大会に出てきたと。私の経験から駅伝大会で良い成績を収めるということは、やはり学校がまとまっていないと総合力の発揮される場所ですので、そういう面で駅伝大会で優勝あるいは準優勝の成績を収めるということは、中学校自体が非常に良い状況にあるのではないかなと考えております。いずれにいたしましても、皆様方の支えがあって、嶺南中も頑張っていることと思いますので、またよろしく願い申し上げたいと思います。あと、和田小学校につきましては、雨漏りがひどいということで、今回、私ども2階と3階の廊下の天井を全部張り替えました。あと、屋上のひび割れしておりましたところを修理いたしました。また、校舎の裏に雨どいで水が落ちるようになっておりますけれども、その屋上がやはり落ち葉等のゴミがつかえていたところがありましたので、そこもきれいにしました。私も和田小に2年間お世話になったんですけども、今回初めてわかったんですけども、校舎棟の屋上に上がるドアとかそういうものがないわけです。3階のトイレの個室の天井を開けて上がっていくということで、私も行こうとしたんですけど無理だった。天井裏の配管の間を潜り抜けて行くのに、その太っている体ではとても行けないということで、ですから小柄でしかも痩せている人間じゃないと屋上にたどり着けないというような非常に日常の管理は、やりにくい状況になっておりますけど、今回、今申し上げたような形で修理をいたしました。それでまた様子を見て状況に応じて対応していきたいと考えております。あとは、これも驚くことですが、和田小学校の校庭にイノシシが大挙しておまして、これにつきましては、私どもの方でパイプで柵を作りまして、校庭等に入らないように今準備しているところであります。皆さん方から嶺南中学校あるいは南小と丸小は来年4月の統合ということで進めておりますけど、南三原小と和田小は現状のままのところ、新校舎ができるまでやっていきますということで、結論いただいておりますけど、その間で不都合等がありましたら我々も対応できるものはしていきたいと思っておりますので、遠慮なく御相談いただければと思っております。最後になりますけど、突然委員長さんの方からお話がありましたが、私事でもないんですけど、今お話ししたとおりでございます。明後日、初めての会議があります。おめでとうございますといわれると非常に困惑しますが、内心ビビっております。地方公共団体では、岡山県知事と岐阜市長と教育委員会では私だけで、その他には大学教授や企業の経営者だとかそういったところで、なぜ私が選ばれたんだって、ここ暫くは悪いことをしてないのになあと思っていたんですけど、本当にそういう会議に出て、

意見が言えるかどうか心配なんですけど、考えてみますと日本中の半分以上は、私どものような少子高齢しかも財政的に厳しいような市町村があるんじゃないかなと、そういうところの代表として現実を踏まえた意見が述べてこられたらと思っております。また、機会があれば報告しなくちゃいけないと思っておりますけど、いずれにしても南房総市がやっていることが注目されたということは大変ありがたいと思っております。冒頭のあいさつとしては、大変長くなりましたけど本日の会議またお願いいたします。

4 報告等

次第の4報告等の(1)として、前回の「第22回合同会議検討結果について」報告させていただきます。

第22回の学校再編検討委員会合同会議を平成27年6月4日に行い、この時の出席委員は、丸山地区19名と和田地区18名となっております。

前回の会議は、委員さんの交代などもあったため、地区学校再編検討委員会の組織や役割、また丸山地区と和田地区の学校等再編についての経過等について説明をさせていただきました。

次に、丸山地区及び和田地区の学校等再編に係る意見具申書や丸山地区の学校等再編に係る意見具申書の内容について、説明をさせていただきました。

次に、丸山・和田地区統合小学校及び幼保一体施設の建設に係る進捗状況等について説明しております。

次に、議題の第1号「各専門部会員の選任について」検討させていただきました。

専門部会は、通学支援部会14名、PTA部会6名となっており、それぞれ学校等から人選していただいた方で構成しております。

その他にも学用品部会、カリキュラム部会、幼稚園・学校行事部会がありますが、各学校間で適宜人選をしていただき、それぞれ検討を進めていただくこととなっております。

なお、専門部会での検討状況等につきましては、必要に応じて再編検討委員会に協議や報告をしていただくこととなっております。第22回合同会議検討結果についての報告は以上です。

続きまして、報告等(2)の統合小学校等建設の進捗について、説明いたします。

本事業につきましては、平成26年度から嶺南中学校と建設候補地の現状の部分の測量と基本設計業務を進めまして、基本設計の配置計画が整いましたので、その概要を説明いたします。

なお、用地取得につきましては、平成27年第3回市議会定例会において、地権者12名、農地27筆の用地買収費約1億4千万の補正予算を可決していただき、建設説明会を進めているところであります。それでは、統合小学校等の配置計画の説明に入ります。配置図を御覧ください。配置計画ですが、既存の嶺南中学校校舎及び屋内運動場を中心といたしまして、敷地東側今の中学校校庭に統合小学校校舎棟及び屋内運動場を建設する計画となりました。現中学校と隣接することとなり、将来の少子化を考慮し、子供たちや先生方が建物間を移動できる小中一貫校を見据えた計画としております。西側に幼保一体施設を建設いたします。この施設も同様に小中学校との連携を考えての配置としております。中央には中学校校庭及び小学校校庭を整備し、既存道路を挟んだ南側には、野球場及びテニスコートを整備いたします。現在利用しております国道から東側に行く市道は残ることとなります。統合小学校につきましては、2階建鉄筋コンクリート造で延べ床面積は約5700㎡、幼保一体施設は、平家建鉄骨造で延べ床面積は約1900㎡とな

っております。なお、延べ床面積につきましては、現時点における基本設計の面積ですので、実施設計の際には、多少の増減が発生することとなります。配置図面に調整池とありますが、これは千葉県の宅地開発の雨水排水計画で二級河川の丸山川への流出抑制対策として、調整池を整備することとなっております。簡単に申しますと、敷地内に降った雨を一気に放流するのではなく、一時的に調整池に溜めてから放流する機能で、普段から雨水が溜まっているわけではございません。調整池の面積等は、県との協議中でございます。軽微な範囲において変更が生じることかと思えます。今後のスケジュールですが、建設における法的な事務処理、農業振興地域の除外や農地転用の申請を行い、許可後に用地買収の契約を進めます。平成31年度を開校目標とする計画で進めております。以上で概要説明を終わります。

事務局　それでは報告が終わりました。まず、1点目(1)第22回合同会議検討結果報告につきまして、何か御質問等がございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。それでは、御承認いただけただけということでホームページに公表いたします。続きまして、報告の(2)統合小学校等建設の進捗状況として、配置計画案をお示しいたしました。何か御質問等がありましたら御発言お願いいたします。

委員　プールは小学校の方にプール1箇所となっておりますが、中学校と小学校の併用ということですか。

事務局　小学校、中学校両方が使うプールです。水深は、基本的に小学校が使うプールとして考えております。水深が若干浅いと思われそうですが、中学校でも飛び込み等は禁止されていると思われしますので、小学校が利用しない時間帯で中学校も利用できるとお考えください。

委員　先ほどの説明で、小中一貫校を見据えた造りとおっしゃっていましたが、スタート時点は別々で、その後どこかの段階で小中一貫校を目指すという流れで考えているのでしょうか。

教育長　この再編検討委員会でも当初から一貫校にするという御意見はありませんでしたので、児童数生徒数が減っていった段階で一貫校、要するに集団が小さくなっていった時に一貫校にすればいろいろな可能性が出てくるだろうということで、この先どのくらいで児童数生徒数が変化してくるのか、ちょっと見通し持てませんので、10年くらいは別々なのかなという予測は持っておりますが、いずれにしてもはっきりしたものは持っておりません。ただ、小学校の職員室のところと既存の中学校の校舎、これは2階部分でつながっております。小中別々で考えておりますけど、校舎自体は最初から共有していくということで考えております。ですから、中学校の方にも図書室等がありますけど、5年生や6年生がこちらを利用したければ、こちらの方を使うというようなことで、あと体育館も御覧いただけますと新しく造る方が大きいわけですよね。これは、バスケットコートが2面十分取れる大きさになっております。ですから、小学校の施設だとか中学校の施設だからとか決めつけるんじゃなくて使いやすい方を使っていくような、そういう施設の有用性は生かしていきたいと思っております。

委員　小学校の中に学童が配置されているが、これは今現在行政側で管理していない学童

も行政側で管理していく意思表示と違ってよろしいのでしょうか。

教育長 そのとおりです。南小と丸小の統合で新しくなりますけど、これも28年度から市の方で学童をやるということで考えております。今和田地区では民間ということなんですけど、今携わっている方との話し合いで統合前でもそういう話がありましたら対応していきたいと思っております。

委員 小学校のプールを中学校も使えるということなんですけど、幼稚園用のプールはどのようになっていますか。

事務局 小学校のプールのエリアの中で、幼稚園のプールも考えております。小さなプールが付きます。

他に御意見等はありませんか。無いようですので、次第5の議事に移ります。本日は、傍聴の申し出がございませんでした。議事につきましては、設置要綱第7条第1項の規定により、委員長に議長をお願いいたします。合同会議開催の場合には、丸山地区と和田地区の委員長に交互に議長をお願いしている慣例によりまして、今回は、丸山地区の渡邊委員長に議長をお願いいたします。

委員長 それでは、設置要綱第7条第4項の規定により会議は公開することとなっておりますが、本日の傍聴の申し出はありませんでしたので、お知らせいたします。

本日の出席委員数は、丸山地区21名、和田地区18名です。両地区とも、それぞれ過半数に達していますので、会議は成立いたします。よろしくお願いいたします。

それでは、議事に入ります。(1)丸山地区専門部会検討状況について、議題といたします。専門部会の代表の方から説明をしてもらいます。お願いします。

通学部会 丸山地区学校再編検討委員会通学支援部会部会長です。本日、事務局側に席を用意していただきましたが、丸幼小のPTAという立場ですので、よろしくお願いいたします。では、通学支援部会の検討状況について報告いたします。今まで3回の部会を開催いたしました。通学支援部会は、来年度から統合する新たな南幼小のスクールバスの運行ルート、バス停、時刻等を定める部会です。特に丸幼小全部の子がスクールバスの乗車対象となり、また大井地区は、南小までかなりの時間バスに乗ることになります。部会の内容ですが、まず7月2日に第1回目の専門部会を開催しました。部会の委員は、南・丸幼小PTAからそれぞれ4名、オブザーバーとして嶺南中PTAから2名、南・丸小学校から教諭1名ずつ、事務局として教育委員会に入らせていただいております。1回目の部会では、委員の顔合わせが主でしたが、来年度からのスクールバスは南地区で使用している混乗バスを含め5台になるということで、南・丸両小学校とも現行どおりの通学ルート・バスで検討いただきたいと要望いたしました。また、次回からは幼稚園の意見もあった方がよいという話も出ましたので、幼稚園教諭の参加も求めることとしました。続いて、第2回目の部会ですが、8月4日に開催しました。教育委員会からバス路線の提案がありまして、検討しましたが、丸地区で道幅が狭い場所があり、中型バスでの運行が可能かどうかを確認し、検討することになりました。南地区については、現在朝のみスクールバス、帰りは徒歩となっている児童がいますが、現行どおりで変更しないということでお話ししました。また、幼稚

園につきましては、現在一部の園児が南・丸ともに小学校と一緒に乗車し、登園しておりますが、朝の授業、保育の開始時間は一時間近く差がありますので、幼稚園便と小学校便を別の時間で送迎しようと思いをまとめました。ただし、混乗バスを利用している園児は現行のままです。第3回目の部会ですが、9月24日に開催しております。第2回の検討事項となっております丸地区の道幅が狭い場所について、やはり中型バスの運行は難しく、マイクロバスでしか通れないということで、丸地区についてルートの再検討をいたしました。マイクロバスだと乗車できる人数と地区ごとの児童数との折り合いがあわず、多数のルートの組み合わせを考えてみましたが、やはり5台のスクールバスで小学校全児童を一回で乗せるには、最初に乗った子供が1時間近くバスに乗るようなルートになってしまう。そうすると、特に低学年のトイレ等の心配も出てきますので、1台のマイクロバスは丸地区の一部を運行した後、一旦南小に丸地区の児童を送っていただいて、その後に南地区の児童を迎えに行くという案で事務局にお願いしました。現在は、前回部会での案で事務局にスクールバスの時刻表を作っていただいているところです。時刻表が出来上がったら、再度部会で乗車時刻、バス停を確認し、その後にスクールバスの試運転をしてもらうこととなっています。次回の部会は、まだ日程が決定しておりませんが、年内には部会を開催し、あと2回ほどでまとめられればと思っております。来年1月中には、南・丸両幼小のPTAに示せるようにまとめていきたいと思っております。以上です。

議長 ありがとうございます。続いてPTA部会、報告をお願いします。

PTA部会 PTA部会は6名で構成しています。第1回の部会を7月2日行いました。まず役員を選出を行い、基本的なことを話し合いました。細かいことにつきましては、資料に記載してございます。御覧いただいて何かあれば御質問していただければと思います。第2回目の部会は、10月7日に行いました。まずPTAの会則等の案について、丸幼小PTAの会則、南幼小PTAの会則、そして南房総市の他の小学校PTAの会則等も参考にしながら、叩き台を作ってみました。次にPTA行事、各校におけるPTA行事等も、それぞれ若干違いがありましたので、検討してみました。まだ具体的な形での結論は出ておりませんが、概ねこんなような形でいいんじゃないかなという叩き台を作ってみました。それについては、次回また細かい部分について調整して、決定していきたいと思っております。それからPTAの解散と設立について、丸幼小PTAを解散、南幼小PTAも一旦解散、そしてまた新しい組織を設立することについて、総会・決算書等については、細かいことは今後また協議していくということです。もう一つ、教育委員会からの指導で、今年度から始まった子供放課後クラブについて、これはまだ南小については週1回行っているだけなんですけども、今後統合した後には、またこれを継続して行っていくということなんですけども、まだ組織・メニューについては、どのような形でやっていくのかということと、初めてのことでなかなか具体的にこういうふうな形ということとは出ておりません。これも引き続き協議していくということで、会議は終了いたしました。そして、次回は11月、今月中に第3回目の会議を開くことになっております。以上です。

議長 ありがとうございます。ただいま、それぞれの専門部会長から御説明をいただきました。委員の方々からこの報告について、御意見などありましたら御発言いただきたいと思えます。いかがでしょうか。専門部会の会議を数回開いていただいて、いろいろ大変だったことと思えます。何か質問でも結構でございます。何かございませんでしょうか。

委員 P T A部会にちょっとお聞きします。専門委員会について、「厚生研修委員会」・「広報委員会」・「環境委員会」・「校外指導委員会」の4部門とし、任務は次回協議するという事なんですけども、広報委員会はわかりやすくいいんですけど、今までやってきた中で子供会とかの扱いは、これはどういう感じの役に代替になるのでしょうか。

P T A部会 どういうことですか。子供会ですか。

委員 今までのP T Aの中でも広報というのはありましたよね。あと何があったんでしょうか。今まで。これで構成されていたんでしょうか。

P T A部会 いや、若干違っていました。だいたい丸小と南小の丁度いいところを取って、こういうふうな感じの4つの委員会がいいだろうということで、だいたいこれで行こうということで、4部門として、内容についてはまた、要するに広報委員会は、広報紙を発行するとか、それから環境委員会については、草刈りだとかそういうものをP T Aでやる時に主体でやっていただくとか、校外指導っていうのは、交通安全対策だとか朝の登校時だとか下校時だとか、それから校外でマラソンとかをやった時に協力していただくとか、そういうふうなことですよね。ですから、はっきりしたここはこうとかいう役割りはまだ出来てはいないんですけども、だいたいのP T Aの活動の中で考えて、この4つの部門でよろしいんじゃないかということで決めました。ですから、細かい任務については、今月の専門部会でやるということです。

議長 他に委員の方々から御発言、御質問はありませんか。特に御意見は無いようでございますが、お諮りをいたします。(1)丸山地区専門部会検討状況については、報告のとおりでよろしいでしょうか。

委員(複数) 異議なし。

議長 異議なしと認めます。よって、議題の(1)丸山地区専門部会検討状況については、報告のとおりといたします。ありがとうございました。

それでは、次に議題の(2)次回会議の日程についてを議題といたします。事務局の方から案がありましたらお願いいたします。

事務局 (2)次回合同会議の日程につきましてですが、たった今報告していただきましたとおり専門部会がそれぞれ活動等していただいております。概ね2月くらいまでには終了するという御説明もいただきました。また、先ほど報告させていただきました統合小学校等の建設の進捗につきましても、併せましてまた御報告をさせていただければと思っております。何か議決等いただく機会がなければ、次回の会議につきましては2月の下旬又は3月の上旬という形で開催の方をさせていただき、また各部会の報告ですとか、統合小学校等の建設の状況について報告させていただければと思ってお

ります。2月下旬又は3月上旬ということでお願いしたいと思っております。

議長 　ただ今、事務局から説明がございました。これについて、皆様方から御意見がございましたらしていただきたいと思えます。いかがでしょうか。

委員 　時間は同じ時間でしょうか。

事務局 　同じ時間を考えております。

議長 　同じ時間、午後7時からで。他にございませんか。特にないようなので、お諮りいたします。議題の(2)次回会議の日程については、2月下旬から3月上旬頃に開催することに御異議ございませんか。

委員(多数) 　異議なし。

議長 　それでは異議なしということでございますので、(2)の次回会議の日程については、来年の2月下旬から3月上旬の開催で決定いたします。以上で本日の議事は終了いたしました。次第の6その他ということで載っております。このその他以降につきましては、事務局に進行をお願いいたします。

事務局 　委員長さんにおかれましては、議事の進行ありがとうございます。次第の6その他でございますが、事務局の方は特にございません。委員の皆様の方から何かありましたらお願いいたします。

委員 　こんばんは。丸幼小の閉園・閉校が決定いたしました。そこで現在閉園・閉校式を行うということで、それに向けて準備をしているところであります。平成26年4月から子供の数が少なく、また男の子しかいないという状況の中で、このままでは教育上あまり良くないのではということで、話させていただきました。そこで丸と南で段階的に統合されてはどうかということで揉んでいたところ、この7月1日に決定しまして、現状の南幼稚園園舎、南小学校校舎及び現南小学校校歌を使用し、名称は南幼稚園・南小学校と現在のままで行くということになりました。丸幼小としましては、閉校式をやるということで、閉校実行委員会を立ち上げております。私の方は実行委員長として、関係者の皆様の御協力をいただきまして、現在準備を進めているところです。日程ですけれども、閉校式の日程は、平成28年3月26日の土曜日にやる予定でございますので、また関係者の皆様には御協力よろしくをお願いいたします。以上です。

事務局 　ありがとうございます。他に皆様の方からございますか。それでは特にないようなので、以上で丸山地区・和田地区学校再編検討委員会第23回合同会議を閉会します。本日はありがとうございます。

(閉会)